

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立向台小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率(%)	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる力	本校 56.3 全国 47.7	○全体の平均正答率は、全国値よりも7ポイント、都の値よりも3ポイント上回り、良好な結果であった。 ○全設問の平均正答率が、全国値を上回る結果となった。	○半分以上の児童が8割程度の得点をとったため、全体の平均正答率が高くなった。 ○課題となった問題は、どちらも「書く」力を測定するものであった。目的に応じ、キーワードとなる言葉を組み合わせて文章をつくる指導を重点的かつ系統的に行う。
	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力	本校 40.8 全国 37.7		
算数	【思考・判断・表現力】を測る選択式の問題 基準量を1としたときに比較量がいくつにあたるかを理由を挙げて表現する力	本校 40.8 全国 34.8	○全体の平均正答率は、全国値よりも7ポイント、都の値よりも3ポイント上回り、良好な結果であった。 ○全設問の平均正答率が、全国値を上回る結果となった。	○半分以上の児童が8割程度の得点をとったため、全体の平均正答率が高くなった。 今後は、正答率5割以下であった、2割強の児童に対する個に応じた指導の充実を図る必要がある。特に、正答率の低かった日常生活に関連した問題に対して、目的に応じた数処理の方法を説明できる力を伸ばす指導の充実を図る。
	【知識・技能】を測る短答式の問題 題意を的確に捉え、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する力	本校 31.7 全国 21.4		
理科	【思考・判断・表現力】を測る選択式の問題 結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ力	本校 45.1 全国 45.5	○記述式の平均正答率は、全国及び都の値よりも10ポイント程度上回る結果となった。 ○全体の平均正答率が、全国及び都の値を上回る結果となった。	【知識・技能】を図る問題の正答率は6割であった。学習内容について、学習した用語を用いて自分の言葉でまとめる、日常生活での活用を考えることで、知識・技能の確実な定着を図る。また、2割弱の正答率50%以下の児童への指導の充実を一層図る。
	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く力	本校 57.0 全国 39.3		